

## 心臓マッサージ評価機器「しんのすけくん」を小牧市に寄贈

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長兼 COO：松井徹）は4月5日（火）、心肺蘇生法（心臓マッサージ）の訓練をサポートする胸骨圧迫 訓練評価システム「しんのすけくん」を小牧市に寄贈しましたので、お知らせいたします。



社長 松井(右) からしんのすけくんを受け取る山下市長



しんのすけくんを使った訓練を体験する山下市長

「しんのすけくん」は、当社開発の圧力検知センサー「スマートラバー（SR）センサ」を応用し、心臓マッサージの訓練において重要な要素である圧迫位置、圧迫の深さ、リズムなどを検知、リアルタイムで表示される画面を見ながら、訓練を受けられる新製品です。要素ごとに得点化し、客観的に評価することにより、訓練の質の向上を図ります。3月29日に販売を開始しました。

小牧市役所で行った贈呈式では、同市消防本部の救急救命士がデモを実演後、山下史守朗市長が心臓マッサージを体験。「もっと深く」「もっと頭側へ」などの音声ガイドを頼りに、訓練を受けました。

社長 松井は「しんのすけくんを通じて、小牧市にお住まいの皆様の、正しい心肺蘇生法の習得のお役に立ちたい」とあいさつし、山下市長にしんのすけくん1台を手渡しました。山下市長は「圧迫の位置や深さなど微妙な差異は、教える側だけでなく、学ぶ側にとっても難しい。これらが可視化されたしんのすけくんは、非常に意味のある製品。訓練に活用していきたい」と話しました。小牧市は本製品について、同市消防本部の職員らの訓練などに活用するとのことです。

当社は今後本製品の普及に努め、万が一の時にも正しく心肺蘇生が行える人材の裾野を広げることで、「安心・安全・快適」な暮らしづくりを目指してまいります。

以上

※「SR Soft Vision」「スマートラバー」および「しんのすけくん」は、住友理工の登録商標です。